

**平成28年度自己評価報告
にもとづく
学校関係者評価報告書**

平成29年6月30日

横浜システム工学院専門学校

学校関係者評価委員会

平成29年6月28日開催の学校関係者評価委員会にて、学校側からの「自己点検評価報告書」をもとに評価状況の報告を受け、評価項目ごとの評価の妥当性について検証すると共に、各評価項目の課題・今後の改善方策についての意見を募り評価報告書としてまとめた。

1. 実施日

平成28年6月28日

2. 学校関係者評価委員

名 前	所 属
中村 隆一	秀英高等学校 校長
富樫 和弘	神奈川県情報サービス産業協会 常務理事・産学連携委員会委員長
田村 孝章	株式会社アド マネジャー
藤原 美香	イースタン電波工業株式会社 代表取締役専務
粕谷 佳余	株式会社インターフェイス 取締役社長室長
新井 一功	株式会社機能性表示プランニング 監査役
前山 浩志	デジタルコム株式会社 代表取締役社長 (神奈川県情報サービス産業協会 副会長)
金子 秀光	株式会社横浜電算 代表取締役社長
浜口 大樹	横浜市 経済局 中小企業振興部 横浜市工業技術支援センター デザイン部門 デザイン支援アートディレクター
石澤 勝	株式会社メディアライン 代表取締役
久保寺 美奈	卒業生
森川 美穂	在校生保護者

3. 学校関係者評価と意見

(1) 教育理念・目標

評価項目	自己評価	学校関係者の評価と提言
理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4	妥当と評価した。
学校の将来構想を描くために、業界の動向やニーズを調査しているか	4	妥当と評価した。
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	妥当と評価した。
学校における職業教育の特色は明確になっているか	4	妥当と評価した。
理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3	一層の工夫が必要である。

(2) 学校運営

評価項目	自己評価	学校関係者の評価と提言
専修学校設置基準及び職業実践専門課程認定要件に沿った適切な運営がなされているか	4	妥当と評価した。
運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	妥当と評価した。
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	妥当と評価した。
目的等に沿った事業計画が策定されているか	4	妥当と評価した。
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4	妥当と評価した。
人事、給与に関する制度は整備されているか	4	妥当と評価した。
教職員と非常勤講師等との定期的な情報共有を図っているか	4	妥当と評価した。
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3	妥当と評価した。
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4	妥当と評価した。
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3	妥当と評価した。
教育方針や目標を含むマネジメントシステムの継続的な適合性、妥当性、有効性を確保するためにマネジメントレビューを実施しているか	4	妥当と評価した。
学生や保護者、その他利害関係者からの苦情・要請等への対応など、不適合を特定し、対処する手順(予防処置及び是正処置)を確立しているか	3	一層の工夫が必要である。
利害関係者が不満を抱いている場合や、利害関係者と学校側とで意見の相違がある場合の相談受付方法を案内しているか	3	一層の工夫が必要である。

(3) 教育活動

評価項目	自己評価	学校関係者の評価と提言
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	妥当と評価した
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	妥当と評価した
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針などが策定されているか	4	妥当と評価した
情報・IT 分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3	妥当と評価した
資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	妥当と評価した
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3	妥当と評価した
Can-Do を意識した各科目の授業シラバスが作成されているか	3	妥当と評価した
情報・IT 分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	3	妥当と評価した
シラバスあるいは講義要項などが事前に学生に配布されているか	3	妥当と評価した
実習室等の学校施設、設備の利用割り当て（スケジュール管理）が明確になっているか	4	妥当と評価した
学生によるアンケートなどで、適切に授業評価を実施しているか	4	妥当と評価した
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4	妥当と評価した
職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	妥当と評価した
授業評価の実施・評価体制はあるか	4	妥当と評価した
閲覧権限の設定がなされ、個人情報保護への配慮がされているか	4	妥当と評価した
教育の質向上に役立つ改善点を明確にするために、教育を提供している状況（学習環境等）を確認・検証しているか	4	妥当と評価した
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	妥当と評価した
教職員のコンピテンシーを職務記述書と関連付けながら評価し、それらの評価結果を記録しているか	3	妥当と評価した
情報・IT 分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3	妥当と評価した
職員の能力開発のための研修等が行われているか(研修等の効果を評価し、文書により記録しているか)	3	妥当と評価した
情報・IT 分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含め）の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	3	妥当と評価した

(4) 学修成果

評価項目	自己評価	学校関係者の評価と提言
学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか	3	妥当と評価した
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	2	卒業生の就業後の状況や社会的な活躍の把握が不十分である
評価目標ならびに想定される評価範囲を記述できているか	3	妥当と評価した
学生の評価だけでなく、教職員やカリキュラムの評価も含め、評価方法及び手段、スケジュール及び根拠を記述しているか	3	妥当と評価した
成績証明書等、評価結果が社会的通用性を高める形式となっているか	4	妥当と評価した
ニーズ調査結果に基づき目的（到達目標）を設定し、目的に対する評価を結論としてとりまとめた評価報告書を作成しているか	4	妥当と評価した
学習サービス（教育・訓練）を受託または委託する場合、目的、要望、最終目標及び要件を明確にしているか	3	妥当と評価した
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	2	卒業生の状況をさらに把握して、学校教育に反映すべきである。

(5) 学生支援

評価項目	自己評価	学校関係者の評価と提言
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	妥当と評価した
学生相談に関する体制は整備されているか	4	妥当と評価した
保護者と適切に連携しているか	3	妥当と評価した
社会人学生のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	妥当と評価した
卒業生への支援体制はあるか	3	妥当と評価した
図書室・図書コーナー等、ホットライン、カウンセリングサービス、コンピュータの利用、メンタリングなどの学習サポートについて案内しているか	4	妥当と評価した
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4	妥当と評価した
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	妥当と評価した
課外活動に対する支援体制は整備されているか	3	妥当と評価した
学生の生活環境への支援は行われているか	3	妥当と評価した
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3	妥当と評価した

(6) 教育環境

評価項目	自己評価	学校関係者の評価と提言
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	妥当と評価した
学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか。	4	妥当と評価した
教職員に対して、学習指導のための教育訓練や安全管理のための避難訓練を実施しているか	3	妥当と評価した

防災に対する体制は整備されているか	4	妥当と評価した
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3	妥当と評価した

(7) 学生の受入れ募集

評価項目	自己評価	学校関係者の評価と提言
学生募集活動は、適正に行われているか（例えば、入学願書などの契約書を取り交わし、それらの文書を適切に管理しているか）	4	妥当と評価した
履歴書（学歴、所有資格など）を適切に入手し、適切な管理を行っているか	4	妥当と評価した
学校案内等には選抜方法など、入学に必要なスキル、資格、職業経験などの、前提となる要件が明示されているか	4	妥当と評価した
学校案内等に、学費、受験料、学習教材の購入費等が明示されているか	4	妥当と評価した
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3	<ul style="list-style-type: none"> ・教育成果の伝え方が不十分である。 ・どのような教育がなされているのかがわかるような説明をもっと入れるべきである。 ・成果を上げ、効果が認められる教育活動については、もっとアピールするべきである。
評価手段及びその基準、修了時に発行される証明書等について説明しているか	4	妥当と評価した
学力の不足や障がいに関する特別なニーズを特定しているか	3	妥当と評価した
教育の履行、人的・物的資源の提供、個人情報の取り扱い、安全管理など、学校側の義務と責任を学生と保護者に案内しているか	4	妥当と評価した
学納金は妥当なものとなっているか	4	妥当と評価した

(8) 教育の内部質保証システム

評価項目	自己評価	学校関係者の評価と提言
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	妥当と評価した
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	妥当と評価した
文書管理規程、文書管理リスト（ファイル管理簿）ならびに決裁の流れを含む決裁規程（文書処理規程）が文書化されているか	4	妥当と評価した
自己点検・評価や内部監査の実施と問題点の改善に努めているか	4	妥当と評価した
監査や評価基準の知識を有する適任者により適切に監査され、当該課程・部署の責任者に監査結果を報告しているか	4	妥当と評価した
内部監査での指摘事項として、改善すべき点を明確にしているか	4	妥当と評価した
内部監査の結果を受けて取られる処置が、適切な時期及び適切な方法で実施されているか	4	妥当と評価した
自己点検・評価結果を公開しているか	4	妥当と評価した

(9) 財務

評価項目	自己評価	学校関係者の評価と提言
財務について会計監査が適正に行われているか	4	妥当と評価した
財務情報公開の体制整備はできているか	4	妥当と評価した
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	妥当と評価した
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	妥当と評価した

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	自己評価	学校関係者の評価と提言
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3	妥当と評価した
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	2	奨励・支援を見える化したい
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3	妥当と評価した

(11) 国際交流

評価項目	自己評価	学校関係者の評価と提言
留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	4	妥当と評価した
留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4	妥当と評価した
留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4	妥当と評価した
学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	3	妥当と評価した

4. 学校関係者評価と意見の総括

業界団体、企業、高校、卒業生、保護者の視点でいろいろな角度から検証を行った。自己評価結果は、概ね適正で妥当と評価できる。現状として、受け入れた学生を、企業側が満足できるところまで育てることができている。

学生アンケートをクォータごとにとり、授業に反映させているので、学生の声がタイムリーに反映でき、きめこまかな指導に繋がっているように思われる。

外部対応が手薄になっているが、平成28年度は「小学生のためのプログラミング／ロボット教室」での地域貢献教育や「神奈川情報サービス産業協会」と連携した新入社員研修「IT系新入社員基礎コース」などの社会人教育をスタートさせて、専門学校教育の幅を広げるものと期待できる。

昨年度に続き、改善すべき最重要課題は日本人学生の減少をくい止め日本人入学者を増大させることである。教育成果に自信を持って、もっと対外的にアピールしてほしい。高校生向けのフリーペーパー発行など新しい試みが行われているが、一日も早く効果が表れることを期待したい。